

平成18年度事業計画

西暦2010年、奈良の都「平城京」の誕生から1300年という節目の年を迎えるに当たり、これにふさわしい国家的・国民的な記念事業としての記念イベントの開催に向けて、第1回理事会において決定された「実施基本計画」に基づき、「国際コンベンション事業」「平城宮跡事業」「平城京・広域ネットワーク事業」「市民参加・文化創造事業」の各事業について実施計画の策定や具体的推進を行う。

特に、記念事業を成功に導くためには、国、自治体、関係団体・機関、企業をはじめ多様な主体への参画、連携協力を得ながら事業を進めていくことが必要で、そのために推進戦略を検討し、多様な主体への参画、協力の要請活動等を進める。

また、記念事業においては、人や歴史文化の交流の場や機会を奈良県全域、関西全域、全国的に展開するため、県内各地はもとより、関西一円、全国各地との歴史的文化的なつながりを掘り起こし、連携事業を促進する。

さらに、記念事業の精神を未来の街づくり、人づくりに継承していくため、中長期的な視点で戦略プロジェクトの構想を進める。

平成18年度の主な事業は、次のとおりである。

1．記念事業の実施に向けた戦略的推進に関する事業

(1) 「事業推進戦略」の検討

- ・関係団体・機関、企業等と窓口担当等を通じて調整を図りながら、記念事業の実施に向けて、実効力のある2010年までの推進戦略を検討する。

(2) 多様な主体への参画、協力の働きかけ

- ・国、自治体、関係団体・機関、企業をはじめ多様な主体への参画、参加協力を得るため、記念事業の「プレゼンテーション会」を開催する。(開催予定：東京、大阪、奈良)
- ・その他、国、自治体、関係団体・機関、企業など多方面に、個別に参画、協力の働きかけを行う。

2．個別事業の実施計画の策定に関する事業

(1) 国際コンベンション事業

- ・「世界遺産・地球会議(仮称)」「世界の宗教者による平和のための集い」等の開催に向けて、ユネスコ等の関係機関との調整を進める。
- ・その他コンベンションの誘致に向けた取組みを進める。

(2) 平城宮跡事業

- ・歴史文化や世界遺産とともに生きる《豊かさ》《楽しさ》《美しさ》を提供できる魅力ある展示を実現するため「展示委員会」等において検討を進め、展示実施計画及び展示基本設計の作成を行うとともに、催事事業の展開についても、実施計画の策定、基本設計等を行う。

(3) 平城京・広域ネットワーク事業

- ・各地域での様々な事業を協働して、企画・実施していくため、県内各市町村に呼びかけ、市民、各種団体、社寺、文化施設、大学など、各地域の多様な主体が参加する「地域別懇談会」の設立を働きかけるとともに、イベントプロデューサー等の人材を活用した「ネットワークセンター」を設置し、記念事業に参加する個別の展示・催事の企画を進める。
- ・県内の社寺に記念事業への参加を呼びかけ、具体的な事業の企画・制作を進める。
- ・関西・全国での事業展開を図るため、古京関係府県や平城京ゆかりの市町村・寺社へ参画の働きかけを行う。
- ・県内公共博物館、美術館をはじめとして、連携した特別企画展の展開の検討を進める。
- ・その他「平城京パレード」「歴史文化インタープリテーションツアー」、「アートフェスティバル」について基本計画の策定を進める。

(4) 文化創造・市民参加事業

- ・多様な主体による積極的な参加を推進していくための基本計画の策定を行う。
- ・文化ボランティアの育成のため「奈良2010年塾」の運営を行う。
- ・「奈良クラシクス・プロジェクト」の実施計画の策定を行うとともに、奈良クラシクス事業の具体的な展開に向けた取り組みを進める。

(5) 企画委員会の設置

- ・個別の行催事を効果的に展開するために「企画委員会」において事業計画の全体調整を行う。

3 . 平城宮跡事業の会場計画に関する事業

(1) 会場計画の作成

- ・会場計画については、平城宮跡内の文化財を損なうことのないよう、文化庁と協議し、専門家の意見も聞きながら、慎重に検討を進め、基本設計等を行う。
- ・地下遺構の保護に十分に配慮した会場計画とするため、専門家による委員会を設置し、検討を行う。
- ・平城京体感モニュメント等整備計画を作成する。
- ・歴史大路（朱雀大路）の整備に関する構想の検討を行う。

(2) 会場運営の基本計画の策定

- ・会場運営に関する基本計画の策定を行う。
- ・会場への交通アクセス情報の提供、会場の運営、来場者へのイベント情報の提供など多方面での先進情報通信技術(I C T)の活用を図るため、産・学・官の連携による専門委員会において活用方策の検討を進める。

4 . 広報宣伝・マーケティングに関する事業

(1) 広報基本計画の策定

- ・効果的、効率的に記念事業の周知、機運醸成を図っていくため、様々な広報手段、手法の適性等の整理、検討を行い、2010年までの広報宣伝基本計画を作成する。

(2) 広報宣伝事業

- ・マスコットキャラクターの制作等、V I (ビジュアル・アイデンティティ) 戦略の展開を図る。
- ・奈良県、奈良市、企業、各種団体等の広報紙等の広報媒体を通じ、記念事業の開催目的やテーマ等についての広報宣伝活動を実施する。また、「代官山 i スタジオ」を活用し、首都圏における情報発信、広報宣伝活動を併せ行う。
- ・記念事業に関する認知度を高めるため、東京、大阪、奈良において「平城遷都1300年記念事業フォーラム」を開催する。

(3) マーケティング事業

- ・観客誘致の推進のため、入場券販売計画等の必要な計画の策定を行う。

5 . 協会の運営等に関する事業

・第2回理事会の開催

開催日：平成18年4月28日(金)

場 所：奈良県新公会堂

内 容：平成17年度事業報告、平成18年度事業計画等の審議

・大極殿正殿復原現場の特別公開

実施日：平成18年4月28日(金)から30日(日)まで

場 所：平城宮跡内 大極殿正殿復原工事現場(奈良市佐紀町)

内 容：復原工事現場の公開、記念講演会の開催等

・協会事務局の運営